

## 編集後記

平成28年度のアニュアルレポートが出来ました。

この年度の当院のトップニュースは、小西郁生院長の就任です。信州大学、京都大学の産婦人科教授を経て平成28年4月1日付けで当院に着任しました。薬剤部も小林勝昭が、看護部も荒木輝美が、それぞれ部長として着任し、平成28年度はまさしく新体制での始動でした。当院への患者さんの紹介件数は年々増加しており、地域の拠点病院としての当院の役割と責任は益々大きくなっていると考えます。また、それぞれの診療部門が、臨床だけでなく学術面でも努力を続けていることも本レポートの示す通りです。

本レポートに載せられなかった出来事としては、4月に当院の広報誌である“うづら便り”が、“京都医療センター便り”として発刊されて以来、通算100号を迎えました。また4月14日と16日に熊本地方を最大震度7の大地震が襲ったことを受けて、16日の早朝に現地に向けDMATを出動させました。同日19時に熊本赤十字病院に到着し、18日の夕方まで現地でミッションに従事しました。被災された皆様にはこの場を借りて、お見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を心より祈念申し上げます。その他、7月15日付けで先進医療推進委員会を立ち上げました。当院の基本方針の冒頭に掲げているように「常に高度で先進的な医療を導入し」地域の医療に貢献すべく、これからも努力していきます。また、狭い・汚い・臭いのご批判を受けて、8月7日に外来2階のトイレのリフォームが完成しました。

平成28年度の出来事を挙げればまだまだキリがないのですが、京都医療センターはよりよい姿を目指して日々努力・革新しています。平成29年度のアニュアルレポートも胸を張ってお届けできるよう、これからも邁進していきますので、どうかよろしく願い申し上げます。

広報委員会

瀬田公一 塚原徹也